

FUKUOKA FINANCIAL GROUP



FPGディスクロージャー誌2024
あなたのいちばんに。編

ごあいさつ



ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長

五島 久

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
FFGの営業基盤である九州の景気は、半導体関連をはじめとする企業の設備投資や各県中心市街地の開発等に加え、個人消費が物価上昇等の影響を受けながらも堅調に推移するなど、緩やかに回復しています。

2023年度、当社は中小企業のお取引先に対する販路拡大等の本業支援や、個人のお客さまに対する新NISA活用等の資産形成サポートに注力しました。また、個人バンキングアプリや事業者向けポータル「BIZSHIP」をリリースし、福岡中央銀行との経営統合等にも取り組みました。

その結果、2023年度決算は、中小企業向け貸出金や投資信託残高の増加を主因に、本業の利益を示すコア業務純益が過去最高となりました。

現在、第7次中期経営計画の主要施策として、「デジタル活用」を起点に「業務改革」「営業改革」の各施策を連携させる「既存ビジネスモデルの変革」に取り組んでいます。これにより、お客さまの利便性向上、社内業務の効率化、高品質で標準化されたコンサルティングの提供を同時に実現します。

中計最終年度となる今年度は、この変革ストーリーの効果をお客さまや地域の課題解決につなげ、多くのお客さまのご支持をいただくことで収益向上を目指します。得られた収益は、地域や株主の皆さまへの還元、将来に向けた成長投資、人材育成などの人的資本投資に振り向けることで、「豊かな地域社会の実現」と「FFGの企業価値向上」の好循環を創出します。

今後とも、より一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

TOPICS

DX注目企業 2024選定



投資信託残高 1兆円

(2024年1月末時点)

福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・
福岡中央銀行・FFG証券で提供して
いる投資信託の残高が1兆円を突破

九州・沖縄地銀連携協定を締結

九州では、台湾の大手半導体メーカーTSMCの熊本進出を機に、半導体関連企業の積極的な進出や設備投資が進んでいます。私ども地方銀行は、裾野の広い半導体産業の成長に、より具体的かつ能動的に貢献したいと考え、2024年1月16日、九州・沖縄の第一地銀11行*で、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて連携協定を締結しました。この連携によって、まずは九州・沖縄の「経済全体のパイを大きくする」ことを目指し、それぞれの強みを活かしつつシナジーを発揮することで、半導体関連産業集積の促進や他産業および社会インフラの強化、ひいては九州・沖縄経済の持続的な成長に貢献してまいります。

*福岡銀行、十八親和銀行、大分銀行、沖縄銀行、鹿児島銀行、佐賀銀行、筑邦銀行、西日本シティ銀行、肥後銀行、宮崎銀行、琉球銀行



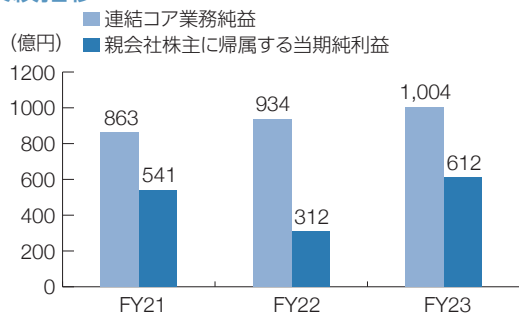
AI戦略グループを新設

2024年4月1日、FFGのデジタルトランスフォーメーションの取り組みを加速させ、地域社会やお客さまへ新たな価値を持続的に提供していくことを目的に、人工知能の戦略的活用を進める専門部署を新設しました。既存業務の効率化や営業高度化のみならず、将来的にはAIを起点としたビジネスプロセスの再構築を目標とし、先端テクノロジーに関する知見を有するベンチャー企業等、外部パートナーとの協業も検討してまいります。

業績ハイライト (2023年度)

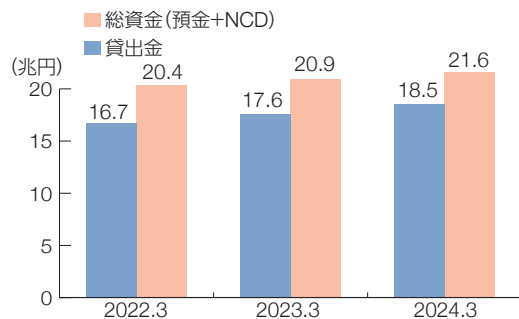
連結コア業務純益は、中小企業向け貸出金のボリューム増加による国内資金利益の増加や投資信託販売等の資産運用関連手数料の増加などにより、前年比+70億円増加の1,004億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度の外債口スカット剥落等により、前年比+300億円増加の612億円となりました。第7次中期経営計画の達成に向けて、各種施策は順調に進捗しています。

業績推移



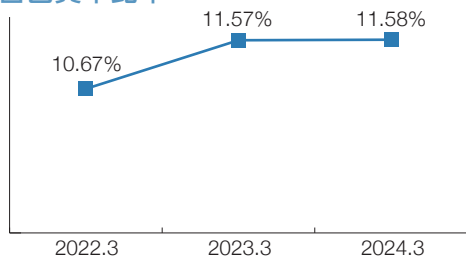
※FY23の数値には、福岡中央銀行の2023年度下半期の計数を合算。
FY22以前の計数には、福岡中央銀行の計数は含んでおりません。

預貸金末残(連結)



※2024.3の数値には、福岡中央銀行を含んでおります。
2023.3以前の数値には、福岡中央銀行を含んでおりません。

連結自己資本比率



※2024.3の数値には、福岡中央銀行を含んでおります。
2023.3以前の数値には、福岡中央銀行を含んでおりません。

プロフィール

2024年3月末日現在

FFG ぶくおかフィナンシャルグループ

設立日 平成19年4月2日
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
資本金 1,247億円
従業員数 7,995人

連結子会社

28社

格付情報

AA- R&I
発行体格付^(※)

A+ JCR
長期発行体
格付

※2024年4月19日現在

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
資本金 823億円
従業員数 3,517人
店舗数 170(福岡県内152)

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
資本金 100億円
従業員数 771人
店舗数 70(熊本県内63)

十八親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
本店所在地 長崎市銅座町1番11号
資本金 368億円
従業員数 1,892人
店舗数 188(長崎県内164)

福岡中央銀行

設立日 昭和26年6月5日
本店所在地 福岡市中央区大名2丁目12番1号
資本金 40億円
従業員数 417人
店舗数 41(福岡県内41)

*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期発行体格付 *3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所):8
(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

会社説明会を開催しました

国内の機関投資家を対象に「第38回FFG会社説明会」を開催し、当社グループの経営戦略を中心に、第7次中期経営計画の進捗や持続的な成長へ向けた取り組みなどについて説明を行いました。当日の動画をホームページに掲載しております。当社グループをより深くご理解いただくための参考になりましたら幸いです。

●ホーム>株主・投資家情報>IRライブラリー>会社説明会資料・決算ハイライト
<https://www.fukuoka-fg.com/investor/library/presentation.html>



株主還元の充実

当社グループの株主還元は、利益成長による安定的な配当(維持・増配)を基本としており、2007年の設立以来、配当の維持・増配を実現してきました。2022年度にスタートした第7次中期経営計画では、健全性の維持を前提に、成長投資と株主還元のバランスを考慮して、配当性向35%程度を目安とする業績連動型の配当テーブルを設定し、安定的な利益還元を目指しています。また、自己株式の取得については、今後も業績動向や資本の状況、成長投資の機会、市場環境などを考慮して、機動的な実施を検討いたします。

連結当期純利益水準	1株あたり配当金目安
675億円以上	年間130円～
650億円以上～675億円未満	年間125円～
625億円以上～650億円未満	年間120円～
600億円以上～625億円未満	年間115円～
575億円以上～600億円未満	年間110円～
550億円以上～575億円未満	年間105円～
525億円以上～550億円未満	年間100円～
500億円以上～525億円未満	年間95円～
～500億円未満	配当性向35%程度

※連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

商号等	加入協会
株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第7号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務支局長(登金)第6号	日本証券業協会
株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社福岡中央銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第14号	日本証券業協会
FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行-2024年6月 ●編集-株式会社ぶくおかフィナンシャルグループ 経営企画部
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL (092) 723-2500(代表)